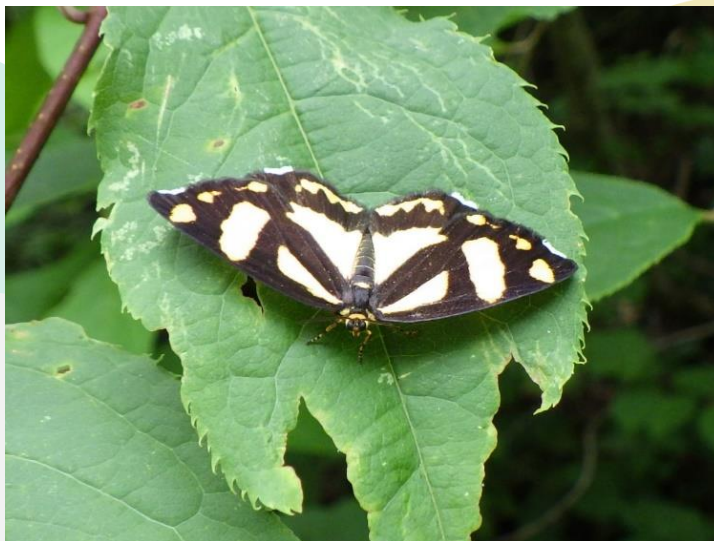




だいせん
大山南壁 三ノ沢方面から（大山国有林：大山町）



みとくだに
キンモンガ（三徳谷国有林：三朝町）



おきのやま
大栃の木（沖ノ山国有林：智頭町）

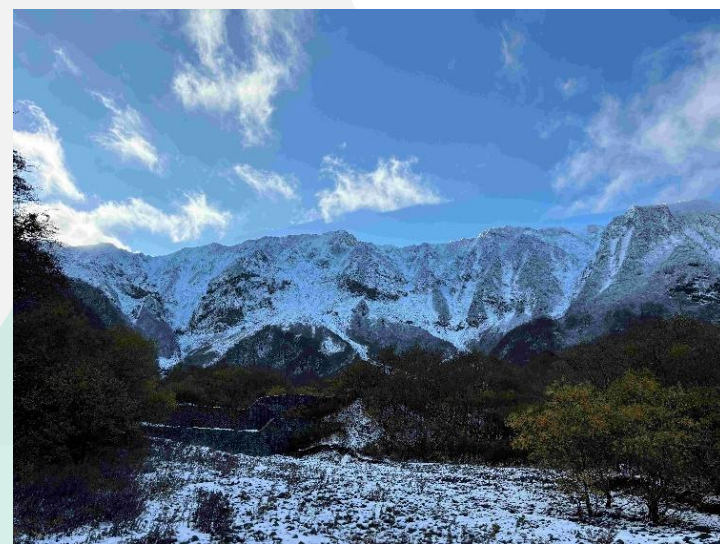
令和7年度 鳥取森林管理署重点取組事項



ひょうのせん
氷ノ山山頂（氷ノ仙国有林：若桜町）



かみはぎやま
採材検討会（上萩山国有林：日南町）



大山北壁 元谷方面から（大山国有林：大山町）



林野庁（8月末進捗状況）令和7年9月
近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署

令和7年度 鳥取森林管理署重点取組事項について

目次

- 1 森林・林業施策推進への貢献 P 2
- 2 公益重視の管理経営 P 6
- 3 民国連携及び民有林支援 P 8

このたび、令和7年8月末時点での取組実績を
とりまとめました。
※以下のページに赤字及び赤線で記載しています。



1：森林・林業施策推進への貢献

被災箇所の早期復旧と国土強靱化施策の推進

○保全対象となる人家や公共施設等の被害を最小限に止められるよう、国土強靱化加速化対策を着実に進めます。

流域治水と連携した国土強靱化の取組 実行中

山地災害危険地区や重要なインフラ周辺等のうち、特に緊要度の高いエリアや氾濫した河川上流域等において、流域治水に資するための森林の防災・保水機能を発揮させる治山施設を整備します。



大山三ノ沢溪間工施工地（大山国有林：大山町）

治山事業による『安全』『安心』の確保 実行中

市街地への落石を防止するため、防護ネットを設置する山腹工事を実施するなど、地域住民の安全・安心を確保します。



きゅうしょうざん
令和6年度山腹工施工地（旧城山国有林：鳥取市）

大山の国有林治山事業の歩み

大山は火山活動によりできたトロイデ式火山であり、主に角閃安山岩からなっています。現在は解体期にあることから各所に大規模な崩壊地が見られ、出水期には多量の土砂礫が流れ出し、下流域に与える影響は計り知れないものがあります。このため、大正6年に大阪大林区署（現 近畿中国森林管理局）の直轄事業として事業に着手したことに始まり、昭和9年の室戸台風を契機として事業区域を拡大し昭和13年に大山治山事業所（大山町大山寺）を設置、令和7年で108年を迎え、大山国有林の治山事業を実施しています。



現在の大山治山事業所

多様化する災害に対応した治山対策 実行中

令和7年3月に大山（一ノ沢）において、大規模な雪崩が発生し大山環状道路（県道）の橋梁が被災しました。雪崩の発生源を含む上流部において、緊急に災害対策の治山工事を実施しています。



河床整理の様子（大山国有林：大山町）

- 「新しい林業」の実現に向けて「林業の低コスト化・省力化に向けた取組」、「デジタル技術の活用推進」、「伐採と造林の一貫作業システム」の取組を実施します。
- 木材を直接・安定的に供給し、地域の木材需要者ニーズに応えます。

林業の低コスト化・省力化に向けた取組

実施済

下刈の省力・削減の取組

下刈は、コストと労働力が課題となっています。下刈回数を削減し、省略化、低コスト化に努めます。下刈省略にあたっては、その可否を判断するため、下刈箇所の植生状況により、3タイプ※（C1、C2、C3）の区分判定を実施します。また、下刈の実施においては、コスト削減の観点から、一律全刈としないで、可能な限り筋刈とします。



下刈省略したC2林分状況 おきのやま（沖ノ山国有林：智頭町）



下刈実施するC3林分状況 しんやま（真山国有林：三朝町）

C1	C2	C3
樹冠の梢端が雑草木から露出	樹冠の梢端と雑草木の高さが同じ	樹冠が雑草木に埋もれている
【下刈省略】	【下刈省略を検討】	【下刈を実施】

令和7年度は、下刈予定箇所34.38haのうち、28.08haをC1又はC2と判定し、下刈の実施を省略することで、下刈コストの削減に努めました。

デジタル技術の活用推進

3次元地上レーザスキャナを活用した収穫調査の効率化

実施中

3次元地上レーザスキャナ計測器による収穫調査を実施して、収穫調査の効率化・省力化に積極的に取り組めます。



3次元地上レーザスキャナによる点群データ解析結果

デジタル機器を用いた検知ソフトの活用

7月31日に開催しました

今年度開催した現地検討会において、参加された林業関係者を対象に、丸太検知ソフトと毎木検知を比較した内容を説明し、ICTの活用による検知業務の効率化・省力化の取り組みを紹介しました。



丸太検知ソフトの説明の様子
(沖ノ山国有林：智頭町)

無人航空機ドローンの活用

5月8日にドローンを活用したシカ防護柵点検の実演を行いました

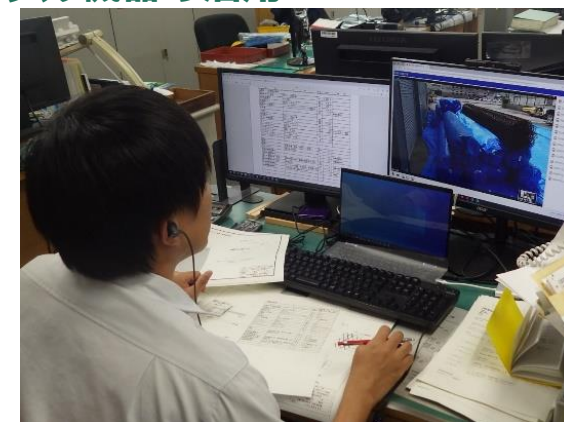
無人航空機ドローンによる山地災害箇所や事業地の現地状況の確認を実施して各種事業の効率化・省力化に積極的に取り組んでいます。今年度は、シカ防護柵点検の実演を行い参加された林業関係者と意見交換を実施しました。



ドローンによるシカ防護柵点検の実演の様子
(真山国有林：三朝町)

森林土木工事におけるデジタル機器の活用 実施中

ウェアラブルカメラを活用した遠隔臨場に取り組み、作業現場の状況をいち早く確認して、受発注者間の円滑なコミュニケーションを図り、業務の効率化・省力化に取り組めます。



事務室からの遠隔臨場の様子

伐採と造林の一貫作業システムの推進

実施中

伐採から造林までを一括して発注し、地拵の省略やコンテナ苗使用による植付の省力化で低コスト化を図る一貫作業システムでの事業を実施します。令和7年度は、小舟山国有林及び坪谷奥国有林で取り組んでいます。



出典：令和5年度森林及び林業の動向

複数年契約の取組

実施中

事業体の経営の安定化や労働条件の改善、雇用の安定に資するため、複数年契約の活用による事業を令和5年度から、沖ノ山国有林において、事業期間を複数年（令和5年～令和7年）とする事業を実施しています。



複数年契約箇所の搬出作業
(沖ノ山国有林：智頭町)

木材の安定供給

木材の安定供給の推進 (立木販売、委託販売、システム販売)

【立木販売】国有林材を立木の状態で販売します。実施中
搬出期間は3年程度あります。（R7予定 36,760m³）

【委託販売】あらかじめ契約を締結した原木市場を通じてセリ売りにより丸太を販売します。実施中
（R7予定 1,650m³）

【システム販売】地域における木材の計画的・安定的な供給を図るため、あらかじめ協定を締結した工場等へ丸太を直接販売します。実施中（R7予定 10,050m³）

森林土木工事における木材利用の推進 実施中

コンクリート構造物の施工にあたっては、上流側に木製丸太の存置型枠を採用し、積極的に木材を利用しています。



令和6年度溪間工事における存置型枠の木材利用の状況（大山国有林：大山町）

2：公益重視の管理経営

森林整備の着実な実施

- 花粉発生源対策として、スギ人工林の伐採・植替えを計画的に進めます。
- 森林の鳥獣害対策として、地域連携により効率的な捕獲を進めます。また、効率的・効果的な対策を検討します。

花粉症対策に向けた取組

「スギ人工林伐採重点区域に準じた国有林」 を中心とした伐採・再造林

実施中

国有林におけるスギ花粉発生源対策を推進するため、スギ人工林の伐採を進めるとともに、再造林にあたっては花粉の少ないスギ苗木に植替えし、花粉の少ない森林への転換を促進します。



令和7年度伐採予定箇所
(小舟山国有林：若桜町)

※「スギ人工林伐採重点区域に準じた国有林」は、都道府県が設定する「重点区域」を含む市区町村内の国有林としています。



花粉の少ないスギ植栽試験地
(真山国有林：三朝町)

鳥獣害対策の推進

地域との連携によるシカ捕獲

実施中

国有林内で活動する事業者、地元猟友会及び当署の連携で効果的な捕獲実施によりシカ捕獲頭数の増をめざします。この取組の関係者間の意見交換の場を設定し連携強化を図ります。



令和6年度シカ捕獲現地視察でのワナ設置説明の様子
(小舟山国有林：若桜町)

効率的・効果的な防護柵の検討

実施中

多雪地における耐雪性耐久性を兼ね備えた効果的なシカ防護柵の開発を目指し、京都大学、(株)キヤムズ及び当署が連携、共同して取り組みます。令和4年度に西鴨国有林に試験地を設定し、耐久性及び経費の検証を実施しています。



防護柵試験地の状況
(西鴨国有林：倉吉市)

重視すべき機能に応じた管理経営

鏡ヶ成国有林において、針広混交林（針葉樹と広葉樹が混じり合った森林）へ誘導するため、森林の天然力を活かして、択伐後の地表処理及び照度管理などについて、専門家の意見を聞きつつ取り組みます。

- | | |
|----------|------------|
| ① 区域面積 | 11.91 ha |
| ② 樹種及び林齢 | スギ人工林 71年生 |
| ③ 択伐率 | 27% |
| ④ 択伐完了 | 令和4年12月 |

10月に現地調査を実施予定

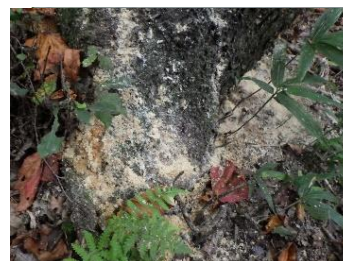


かがみがる
鏡ヶ成国有林の林内の様子（鏡ヶ成国有林：江府町）

自然環境部局等と連携した病虫害対策

令和2年は、全国的にナラ枯れ被害が増大しました。鳥取県でも被害が増大し、国立公園である大山一帯では夏にもかかわらず、あたかも紅葉しているかのようにコナラ、ミズナラが枯れてしまいました。令和4年～令和6年の被害は減少しましたが、まだ終息していません。このため、大山地区の国有林において、被害を抑えるため、立木の幹をビニールで覆うなどの被害予防措置を実施しました。

カシノナガキクイムシ対策実行済



被害によるフラス
発生状況



令和7年度ビニール
被覆の様子



令和2年のナラ枯れ被害の状況（大山国有林：大山町）

3： 民国連携及び民有林支援

○「市町村支援に関する情報提供」、「林業大学校等への支援」、「国有林を活用した地域振興」を柱とした民有林関係者等への技術支援・普及の取組を実施します。

民有林関係者への技術的支援

現地検討会の開催

新しい林業技術等の普及を図るため、毎年テーマを決めて現地検討会を開催しています。

今年度は、昨年度再造林した真山国有林において、積雪葡行による造林木やシカ柵等の倒伏被害の状況をもとに、参加された林業行政や民有林関係者と意見交換を実施しました。

5月8日に開催しました



令和7年度現地検討会の様子
(真山国有林：三朝町)

林業試験場と連携した少花粉スギ苗の実証試験

11月実施予定

西鴨国有林の育成複層林施業地で、鳥取県林業試験場と連携して、生分解性コンテナで養生した少花粉スギ苗を植栽し、実証試験を行っています。
苗木の成長過程における様々なデータを令和7年度も収集します。



少花粉スギ苗の成長量調査
(西鴨国有林：倉吉市)

担い手育成機関及び教育機関への技術的支援

林業大学校等への支援

(にちなん中国山地林業アカデミー) 11月開催予定

我が国の林業を牽引し、地域から信頼される林業技術者の養成を目指す「にちなん中国山地林業アカデミー」の活動を支援します。

昨年度はアカデミー学生の技術向上のため、真山国有林において、少花粉スギコンテナ苗植栽の現地実習等を実施しました。



令和6年度アカデミー学生の現地実習
(真山国有林：三朝町)

森林環境教育の推進

持続可能な社会を創るための森林・林業の役割や木材利用の意義について、理解と関心を高めてもらうため、森林教室、体験林業を実施します。



令和6年度ニッセイ緑の財団の植樹体験
(三徳谷国有林：三朝町)

地域林政連絡会議の開催

民有林施策との一体的な推進を図りつつ森林・林業再生への貢献に向け積極的に取り組みます。
民有林との連携をより一層強化するため、鳥取県、森林整備センター鳥取水源林整備事務所、中国四国農政局鳥取県拠点と情報共有や意見交換の場として、**令和7年5月**に鳥取県地域林政連絡会議を開催しました。

5月8日に鳥取県地域林政連絡会議を開催しました



令和7年度鳥取県地域林政連絡会議の様子（鳥取森林管理署）

地域との連携によるシカ捕獲（ついで見回り・通報の取組）

「ついで見回り・通報」は、狩猟者が設置したワナを事業の受注者が、朝・夕の通勤時に見回り、捕獲等が確認された際に狩猟者へ通報することで、効率的なシカ捕獲を行う取組です。このため、林道から見通せる箇所にワナを設置する必要があり、設置場所を選ばずエサで誘引する「小林式誘引捕獲」との組み合わせで効果が期待されるところです。
令和7年度は、小舟山国有林（若桜町）において、関係する5者で6月に協定を締結しました。引き続き、地域と連携した捕獲を推進します。

ついで見回り・通報連携協定を締結、捕獲実施中



罠を設置した場所のヘイキューブを食べているシカ（小舟山国有林：若桜町）



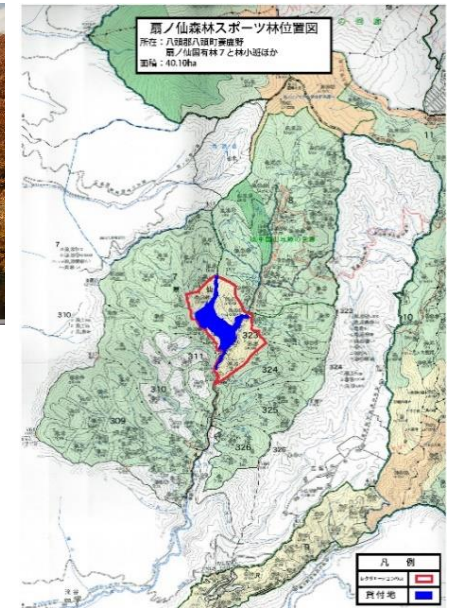
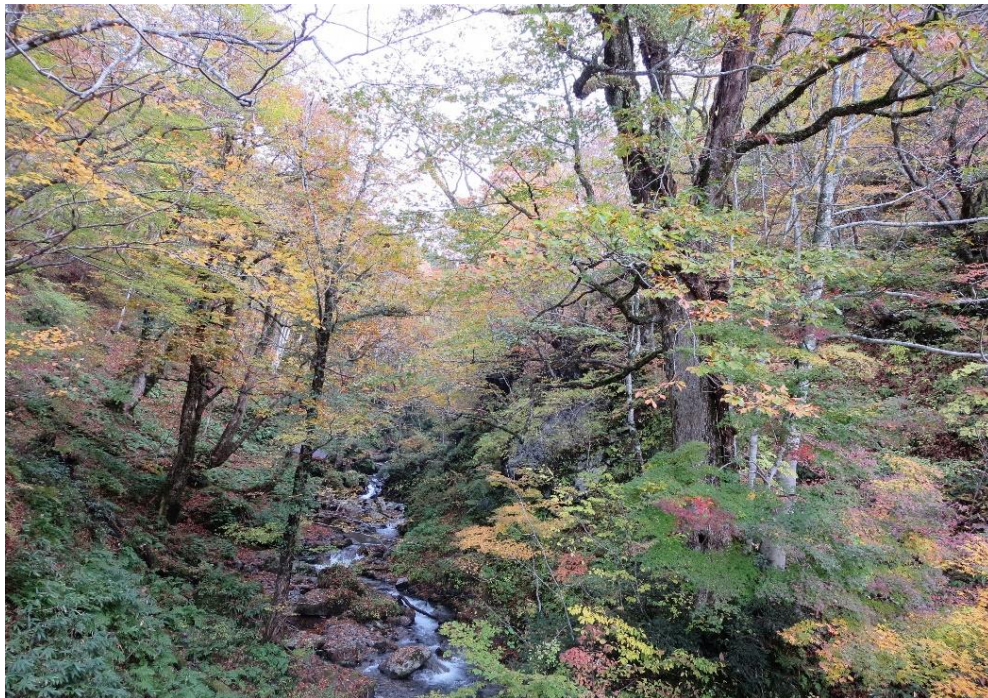
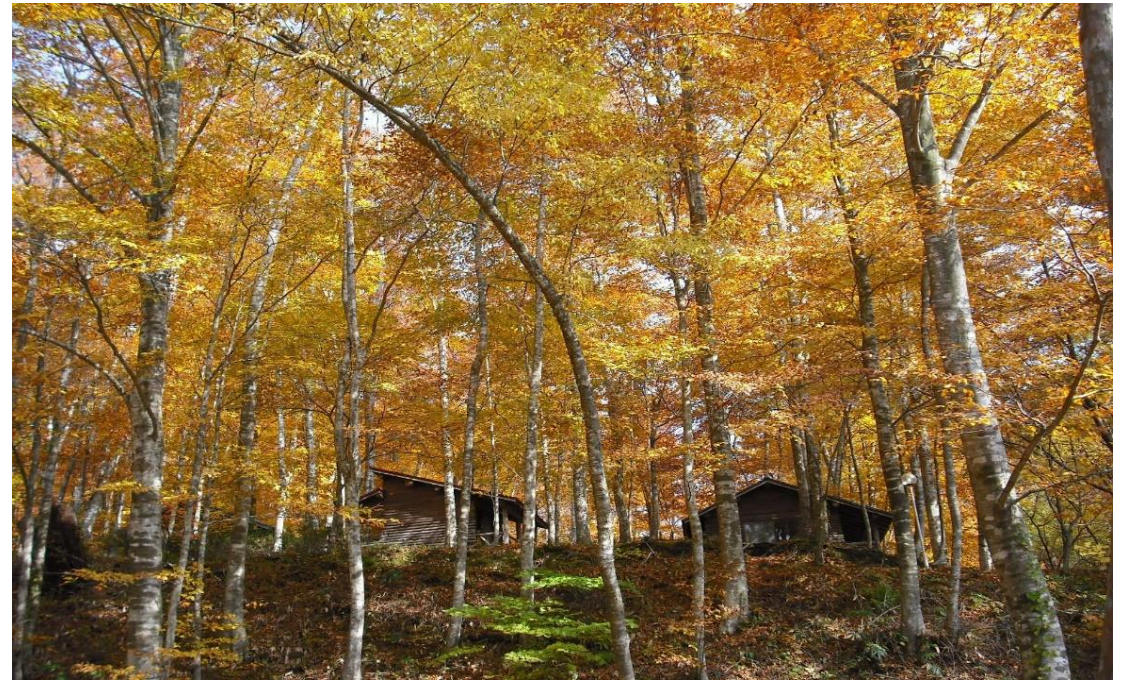
小林式誘引捕獲によるワナの設置（小舟山国有林：若桜町）

レクリエーションの森を活用した地域振興 (扇ノ仙国有林：八頭町)

林野庁では、「レクリエーションの森」571箇所のうち、特に美しい景観を有するなど、観光の場としての利用が期待される93箇所を「日本美しの森 お薦め国有林」として選定しており、「扇ノ仙森林スポーツ林」もそのひとつです。

また、令和6年度には、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域として、環境省から「自然共生サイト」に認定されています。

扇ノ仙森林スポーツ林は、四季折々の魅力にあふれていて、素晴らしい景観や動植物の観察、キャンプなど、様々な楽しみ方があります。



主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和7年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	28.3
	間伐	千m ³	30.3
販売	立木販売	千m ³	21.5
	製品販売	千m ³	11.7
造林	地拵え	ha	8.6
	植付	ha	8.6
	下刈	ha	7.2
	つる切・除伐	ha	0.0
	保育間伐（活用型・ 存置型）	ha	208.3
	保育間伐（本数調整 伐）	ha	10.2
林道	林道新設	m	0
	改良	m	190
治山事業	国有林直轄治山	百万円	347
	民有林直轄治山	百万円	0

- ①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。
- ②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量を含みます。
- ③林道には、林業専用道を含みます。
- ④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

【問い合わせ先】

鳥取県鳥取市吉方109 鳥取第3地方合同庁舎2階

鳥取森林管理署

TEL：050-3160-6125

【鳥取森林管理署ホームページ】

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/index.html>

鳥取森林管理署 管内マップ

